

断水からまちを守れ! 豪雨に 負けなかった 山形市の水道

今年7月の記録的な豪雨では、県営西川浄水場(県水系)の水源の濁度が上昇したため浄水処理が出来ず、山形市への水道水の供給が停止しました。また、見崎浄水場(見崎水系)でも、水源の水位上昇と高濁度のため浄水処理が停止し、そのままでは市内の主要2水系が断水となる危機に直面しました。

そこで、山形市上下水道部では断水の非常事態を避けるため、見崎浄水場の早期再稼働と、水系間の水の融通、そして蔵王ダムからの取水量増量などの対策をとったことにより、断水することなく市内に水道水を送り続けることができました。

そして、西川浄水場の再稼働後は、断水のない山形市の配分枠を断水が続く市町に提供し、早期復旧を支援しました。

これからも、災害に負けることなく安定して水道水をお届けするために努力してまいります。



中山町長崎にある最上川取水口は、大雨によりすっぽりと流れに包まれてしまい、わずかに危険表示看板の上部が残っている。

豪雨発生当時の主な状況

見崎浄水場(市内見崎川原)

水源の最上川の水位が大幅に上昇したことと高濁度のため取水(浄水処理)停止。

⇒見崎水系の断水危機

西川浄水場(西川町:山形県が所轄する村山広域水道の、山形市を含む6市6町に水道水を供給)

水源の寒河江川の濁度上昇により浄水処理が出来ず送水停止。4市2町で断水となる。

⇒県水系の断水危機

見崎浄水場の早期再稼働

水源の最上川の水位が低下しつつも、原水濁度は約1,500度(通常12度:平成24年度平均)と見崎浄水場供用開始以来最高レベルの濁度の中、通常の100倍近くの薬品を注入して処理を再開し、水質の安全を十分に確認しながら約6時間後の再稼働にこぎつけた。

⇒見崎水系の断水回避

蔵王ダムからの取水量増量

松原水系から県水系に、最大800m³/時の水を融通したため、松原水系でも断水が想定された。そこで、国土交通省山形河川国道事務所に松原浄水場の主水源である蔵王ダムからの臨時的な取水量増量を交渉。異例の即時対応となり、375m³/時の増量を了承いただいた。

⇒松原水系の断水回避

県水系への松原水系の緊急融通

西川浄水場からの3度にわたる送水停止により、受入側の県水系で断水の危機となった。そのため、災害時バックアップシステムで来年度完成予定の香澄町配水制御所の連絡管を使い、水量や水圧を測定しながら手動でコントロールバルブを開閉し、大雨の影響を受けなかった松原水系の水を県水系に融通した。

⇒県水系の断水回避

断水を
回避した
3つの対応



いざという時のために... 水を備えましょう

1 飲み水を備える

生命維持に必要な水の量は1人1日3ℓ
災害発生直後、応急給水の体制が整うまで(3日間と想定)
の飲み水を備えましょう。

3ℓ×家族○人×3日 あなたのご家庭はいくら必要ですか?

2 容器を備える

給水車などから水を運ぶための容器を備えましょう。

3 風呂水をためおきる

洗濯などの雑用水、水洗トイレの流し水や防火用水など、
飲み水以外に活用できる風呂水を備えましょう。

山形市の主な水系

見崎水系…水源:最上川(市内北・西部の約3割に配水)

松原水系…水源:蔵王ダム、不動沢川等

(市内東・南部の約4割に配水)

県水系…水源:寒河江ダム【県営村山広域水道からの受水】

(市内南・西部の約2割に配水)

その他、小規模な浄水場から、蔵王地区や山寺地区などに配水。



山形市上下水道部

<http://suidou.yamagata.yamagata.jp/>

〒990-0836 山形市南石関27番地
電話 023-645-1177(代表)